



区民をないがしろにする“無責任”と闘う！

目黒区出身の46歳

目黒区議会議員 無所属・新人

岸 大介

<http://kishidaisuke.com>



連絡先：岸 大介

住 所：〒152-0033 目黒区大岡山1-13-10-1F

T E L：090-3360-3286

Email：info@kishidaisuke.com



SNS・WEB でも活動を発信しております

Facebook：info.kishidaisuke

Twitter：kishidaisuke

Instagram: info.kishidaisuke

Web: kishidaisuke.com

私の考えに、お力をお貸しください！
貴方様からのご献金をお待ち申し上げます。

振込先

郵便振替 00120-6-487566

みずほ銀行 大岡山支店 普通 2339974

<http://kishidaisuke.com>

令和元年 秋吉日

目黒区議会議員

岸 大介

先般の統一地方選挙におきましては1657票もの得票を頂き、無所属の新人ながらも初当選させて頂きました。私の肩にはその数のお気持ちと信頼を乗せて頂いたものと、責任の重さに身の引き締まる思いです。以来二度の定例会が開催され、活動を本格化させております。まだ知らない慣習等も多く、事務方には時折ご指導を頂きながら、日々活動に精進させて頂いているというのが実情ではあります。秋の第3回定例会・決算委員会では、目黒区の持ちうる当面の将来課題に対して、財政の面から指摘・提案・申し入れを行って参りました。財政計画無しに公共サービスをお届けする事が出来ない一方で、将来の不透明さなどの様に向き合ってゆくべきなのか、というのが携わる私どもの葛藤です。本日、リーフレットをお届け致しまして、活動報告の一端とさせて頂ければと思います。

3つの基本姿勢

子供世代にツケを残さない！ スジを通す！ フェアな世をつくる！

議会活動4大トピック

●第3回区議会定例会 本会議にて賛成討論を致しました〈裏面に関連記事〉

●決算委員会にて平成30年度決算の総括質問を行いました〈裏面に関連記事〉

●目黒区・中浪区・東城区 友好都市締結 三区間交流事業に参加しました

国同士の関係が微妙なタイミングだからこそ、自治体レベルでの交流は大切にしたい。何よりも近隣友好3都市(目黒区・ソウル市中浪区・北京市東城区)間の子供たちの交流の芽を、一時の都合や感情論で摘んではならないと考える。外国でのスポーツ交流に、目黒区の代表として参加できるかもしれないという事が、現役の中学生にとって一つの夢や憧れであり続ける事を祈りたい。

三区交流事業にてソウル市中浪区長と!!



●目黒消防団操法大会に選手として出場しました



消防操法大会
2番員選手を拝命、
放水のサポートに入る!!



地域の防災訓練で消火活動サポート!!



義足を試着してみて障害者サポートの技術の進化に驚く!!



子ども食堂はライフワーク、イベントで焼きモノ担当!!



地域の宝と文化を守る為に!!



町のオジさんとして子ども世代を護る!!



本会議場で質問準備に気合満タン!!



街で出会った人々と!!



議会仲間と義援金募集の呼びかけに立つ!!

岸 大介 プロフィール

1973年 目黒区生まれ
1986年 トキワ松学園小学校 卒業
1998年 東北芸術工科大学 デザイン工学部 卒業
2003年 NY市立大学ハンター校 経済学部 卒業
2005年 コロンビア大学 SIPA国際・行政学大学院 卒業 行政学修士
2007年 会社員、政党職員(本部国際局・都議会政策調査会等)を経て
2017年 衆議院議員(元復興副大臣、元文部科学大臣)政策担当秘書
2018年7月 政治活動を始める
2019年4月 目黒区議会議員 初当選(都市環境委員会)
目黒消防団所属

自己紹介・好み

家族：妻
趣味：社交ダンス、Jazz、Perfume(アーティスト)、四国遍路
好きな食べ物：蕎麦、カレー、牡蠣、イチジク、純米酒
好きな言葉：「明日、世界が減びるとしても 今日、君はリンゴの木を植える」by 開高 健

第3回定例会 本会議 及び 決算委員会 発言要旨

先般、再生団体に陥ったメロンの有名な北の町では、一般会計から特別会計への貸付けと、出納整理期間中での返済という不正・隠ぺいを長年にわたって行うも、議会がその事実を見抜けなかった。言い換えれば、議会の決算委員会・質疑が全く意味をなさないという、機能不全の事実があった事が財政破綻につながった。これは不正・隠ぺいを能動的に行ってきた地方自治体自治体と同等に、議会にも責任があったと言えるだろう。特に地方財政計画・決算の査定への責任が重くなってきている現実を、その当事者たる我々が今こそ再認識するべきであると考えます。〈総括質疑より〉

平成30年度の目黒区の歳入総額は1545億4千万円余り、歳出が1493億8千万余りで、歳入歳出差引額は、51億6千万円余となっており、前年度比で歳入は2.2%の増、歳出は2.7%の増となった。他方、普通会計ベースにおける30年度末の積立基金の現在高は424億8千万余りとなり、期首から69億円余り増となった。目黒区のこの様な現状の中で、以下の5つの要点に絞って質疑をした。

1 経常収支比率*に関しては、区では同比率が高い状況が続いており、今H.30年度で81.6%。類似団体(東京23区)での順位はまだ公表されていないものの、未だ許容範囲枠(70~80%)を上回っている。経常収支比率を下げて財政の弾力性・機動性を求め続けなければならないというのは唯一の方向性であり、危機感をもって、更なる行財政改革に取り組む事と要望致した。

*経常収支比率：経常的経費に経常一般財源収入が使われている割合。率が高いほど財政が硬直している。

2 標準財政規模*についての懸念としては、今般の区の財政規模は、景気の穏やかな回復による税収の増収や、一方で扶助費増の結果として、歳入歳出ともに過去10年間で最大値となり、もはや一過性のモノとは言えず、増加傾向にあると断言できる。扶助費の伸びや、そもそも重い義務的経費や物件費で膨らんだ歳出を、基金等の取り崩し策ではなく、根本的に抑制させることは非常に難しい課題である。目黒区は地方交付税の不交

付団体である以上、歳入の多くを特別区税に依存しており、景気の変動による地方税収入の振れが財政運営に及ぼす影響が大きく、恒常的なリスクを内在している。この両歳入・歳出の増加傾向については危機感をもって地方財政計画を立案する事と要望した。

*標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模。(標準税収入額に普通交付税を加算した額。)

3 3点目として将来負担比率*と資産老朽化比率に着目する。一般に、資産の老朽化比率は将来負担比率の算定に組み込まれていない。将来負担比率がマイナスの値を示しているとしても、仮に資産の老朽化比率が高ければ老朽化対策が先送りされている事を暗喩している。総務省は潜在する将来負担である資産老朽化比率を算出し、将来負担比率と合わせて財政分析を求めるとの方針を自治体に求めている事を鑑みれば、区の説明、つまり将来負担比率がマイナスであるから健全であるとの解釈には疑問符を着けざるを得ない、と指摘する。

*将来負担比率：地方債残高と債務負担行為による今後の支出予定額、退職金手当の負担見込み、将来的に区が支払うべき負担見込み額を標準財政規模で割った値

4 4点目は公会計への発生主義*の導入と利活用という点で質疑をした。資産老朽化比率は、公共施設の取得原価に対する減価償却累計額の割合である事から、資産老朽比率を算出するには、公共施設の規模や耐

用年数、減価償却累計額などを一元化した固定資産台帳を整備した上で、財務諸表を準備する必要がある。これには地方公会計制度として現在は現金主義が主流に利用されている以上、正確な費用の算定・適正配分が難しい。である以上、公会計への発生主義の導入・利活用を促進する事、つまり財政の見える化により、財政の専門官だけでなく、各事業部の財務担当、及び一般職員、議員に対してさえも新しい発想やアイデアを実現し、活かす根拠につながる筈である、と提案した。

*発生主義：現金の収入・支出に関係なく、経済価値が費消した事実が発生した時に費用・収益を計上する基準(⇔現金主義)

5 財政力指数*については申し入れを行う。総務省から毎年公表されている財政状況資料集を見ると「財政力」の分析欄があるが、現状H.29年度以前の書類を確認できるものの、目黒区の区別分析欄に、分析たる記載が無い事実を指摘致した。仮にも国へ提出される書類である以上、不備の無い適正な状態で提出される旨を申し入れた。

*財政力指数：基準財政需要額に対する基準財政収入額の数値の3カ年度の平均値

続く別日程において各款、特に総務費と公債費について、以下の大きく4つのテーマで質疑を行った。

- ・防災備品、備蓄米の定期一括購入から毎年度の定割合購入への変更の是非と保存方法、実務管理での提案
- ・物件費の中の委託費の拡大動向の聞き取りと、職員数削減傾向の負の相関性について
- ・地方債の起債の上限20億円マデとの区独自の“ルール”の法的根拠、その設定された経緯の開示について
- ・同20億円という額の数的根拠と、財源の機動性視点からの数値の不変性の是非についての質疑

目黒から新しい政策を！

徹底して情報開示をします

- “行政のゆがみ”を防ぐ為、情報開示と公文書保管を徹底し、情報弱者にも公平な情報伝達を追求します。
- 行政サービスや公報の他、SNSを駆使したリアルタイムでの情報提供を目指します。

ともに支え合う地域社会を実現します

- 障がい者や高齢者向け電動車イス、カート、ミニカー等の公共施設における駐車スペースの確保を急ぎます。
- 幼児や高齢者への虐待を許さない。身体や心の病気、ハラスメント被害等、社会的弱者を守ります。
- 社会的弱者を守る為の一時避難所設置の為の予算付けを急ぎます。
- 産後ケア事業の拡充、産後ケアセンターの設置を急ぎます。

- 障害や貧困、LGBT等を理由とする偏見や差別に立ち向かいます。
- 犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組み、地域猫の保護と不妊手術・去勢手術への助成を拡充します。

生活者目線での暮らしの立て直しを図ります

- 学校周辺の通学路と、駅周辺の防災性の向上を目指します。
- 集合住宅開発などにおける周辺の住環境に配慮した施索を推進します。
- 歩行者優先経路の安全性向上とバリアフリー化、自転車通行道路の整備を急ぎます。
- ヒーローバスの本数増加と効果の高い運営を推進します。
- 呑川緑道の改修と桜再生の為の予算の拡充を目指します。
- 区有施設のフリーwifiの設置を目指します。
- 全ての地域避難及び自主避難所への防災機材拡充を急ぎます。
- 防災無線設置個所の増加と、効果的な区発信情報の伝達を推進します。
- 区内の河川でのユスリ蚊対策の為の特殊洗浄の強化の為の予算を拡充します。
- プラスチックごみ減少施策と海洋汚染対策、更なるプラスチックリサイクルを推進させます。